

福井国体が開催されています。県勢の活躍が輝いていますね。皇族の方々も続々と来県され、ニュースを目を細めて見る姿がみられています。

9月は体調を崩されお休みされていた方がまた元気な姿を見てくれたり、逆に体調を崩されてお休みに入る方がいらっしゃったりしました。そして10月から新しい利用者様が2名増えています。全員が安定した体調で過ごせるように、支援していきます。

今回は、先月実施させていただいた、『平成30年度ご家族様満足度調査アンケート』の結果をお知らせします。

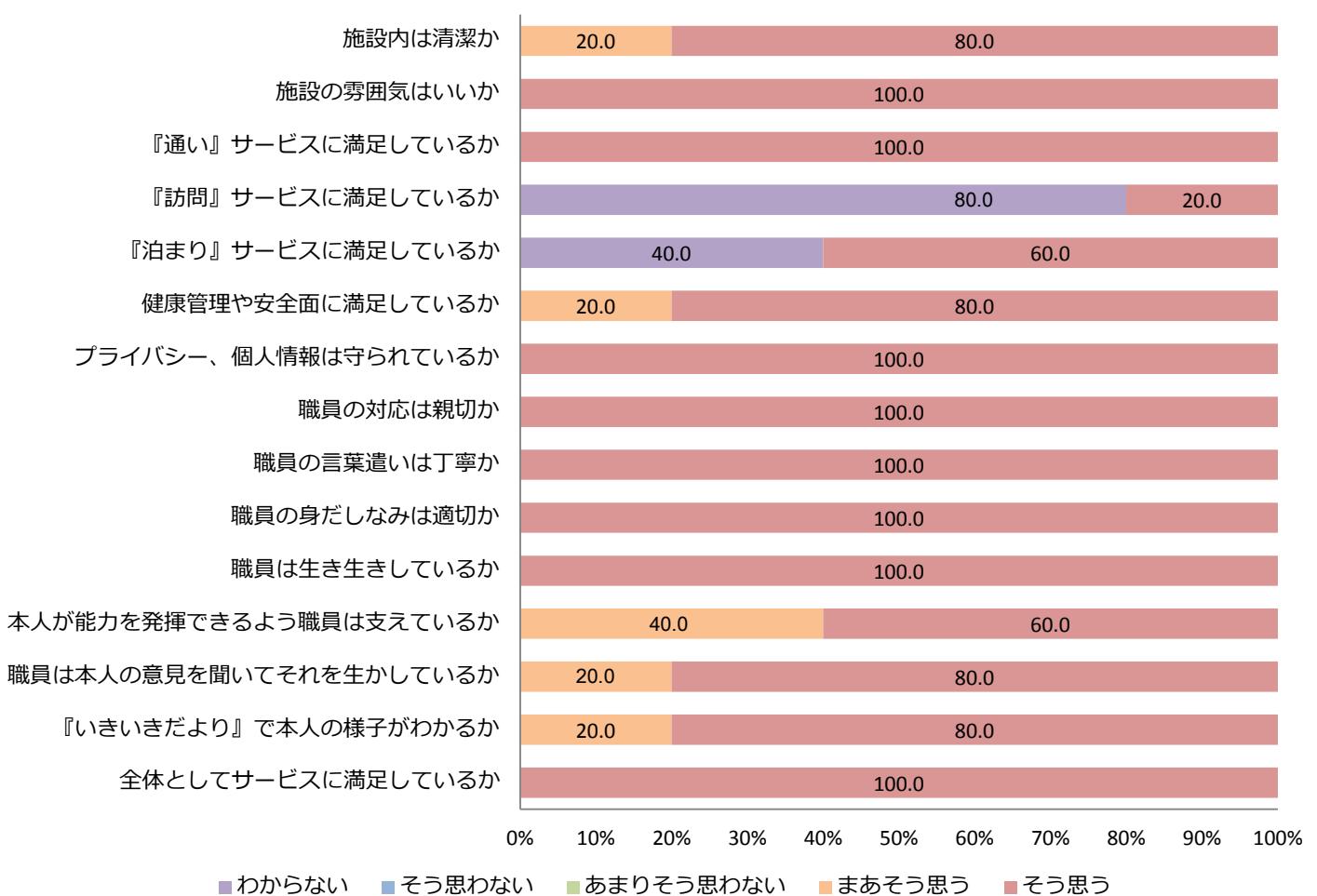
いきいき

NO.27 平成30年10月 だより

あわら複合ケアサービス

TEL 0776-77-2282

あわら市二面2丁目302番地



▶ご意見・ご感想

- いつもお世話になっております。
- 本人が満足しているようなので、家族としては喜んでいます。
- 今年の夏の要介護認定で、母の介護度が要介護3→要介護1になりました。現在の母は体調も良好で、問題なく過ごしています。これもひとえに母の体調や気持ちの不穏に、きめ細やかに対応してくださったスタッフの皆様のご尽力のおかげです。本当にありがとうございます。

貴重なご意見ありがとうございます。今後も一人ひとりの思いにできるだけ応えられるよう、職員一同、一層努力していきますので、これからもたくさんのご意見・ご指導をよろしくお願い致します。ご協力ありがとうございました。次回の調査は平成31年9月を予定しております。

育休中の職員が赤ちゃんを見せてに来てくれました(^ ^)



～第4回運営推進会議の
お知らせ～
10月17日(水)
13:30～14:30
の予定です。

あんこやフルーツ、生クリームをたっぷりのせた、ホットケーキを作りました



高齢者にやさしい車について ~その2~

介助式福祉車両のいろいろ



【回転スライドシート車】

助手席または後部座席が回転し、外方向にスライドして乗り降りがしやすくなる装置が付いています。少し足腰が弱っている方、体を大きくひねる動作が難しい方、杖を使えば歩行できる方などにとって、乗りやすい機能です。



【リフトアップシート車】

ドアを開けた後、スイッチボタンを押すと、助手席（または後部座席）が動き、座ったまま車外へ出ることができます。その際にシート表面の高さを調整できるので、車いすの座面の高さにあわせれば、乗り移りの介助が楽になります。一部の車種では後部座席が車外へスライドダウンした後、車輪が出てきたかと思うとそのまま切り離されて、電動車いすに早変わりするものもあります。乗り移りや車いすの収納などの必要がないので便利です。



【車いす仕様車】

車いすに乗ったまま自動車に乗れるタイプで、最近では小型車・軽自動車にも装備されています。乗るときには後部のハッチを開け、スロープで室内に入ります。車内では車いすを固縛装置で固定します。車いすから移乗させる必要がないので、介助者の体にかかる負担が少ないなどのメリットがありますが、乗るときには車の後方に広いスペースが必要になりますので駐車場を確認しましょう。



個人個人にあわせたカスタマイズ

3種類の介助式福祉車両はそれぞれ便利な機能がついていますが、体格の差、障害の程度や種類、移動の目的などにより、その機能だけでは足りないこともあります。また忘れてはいけないのが、介助をする方自身が快適に運転できる自動車を選ぶことです。ぜひ購入前に一度試乗してみて、使いやすさが自分のライフスタイルに合っているかどうかを確認してみましょう。（ケアサポホームページより）

★あわら複合ケアサービスの精神★

理念

私たちはいつもあなたのそばにいます

目標

- ① 自宅での介護を希望されるご家族様を応援します
- ② 日常生活ができる活動を通して筋力低下を防ぎ、脳の活性化を図ります
- ③ 地域に密着したサービスを提供します

